あぶたん つうしん

仙台南部流域治水出張所だより～

271Go!

発行日 ： 令和8年9月30日
発 行 ： 国土交通省 東北地方整備局 仙台河川国道事務所 仙台南部流域治水出張所
〒989-2441 岩沼市館下1丁目2番9号 ☎0223-22-2801 FAX:0223-22-2802

国内外で水の被害が相次いだ2026年の夏が終わろうとしていますが、阿武隈川の出水期*は10月末まで続きます。被害にあわれた地域から「想定外」の言葉が聞かれるのも、珍しいことではなくなってしまいました。

仙台南部流域治水出張所では、水害を防ぐべく河川施設の点検を行い、また、水害が起こってしまった場合に備え、被害を最小限にくい止めるための訓練を行っています。日々、天気図とにらめっこして、大雨の兆しがないか、今できる備えはないか、「想定外」を減らすための警戒をしています。皆さまも、これまでよりもうちょっとだけ、備えてみませんか？

*出水期：大雨などで川の水位が上がりはん濫しやすい時期のこと

総合学習のお客様 ～岩沼市 北の町防災支援隊＋北の町町内会の皆さま～

8月28日、北の町防災支援隊と北の町町内会の皆さまが、押分排水機場へ見学に訪れました。押分排水機場は、五間堀川の水を阿武隈川に排水するための施設です。五間堀川は岩沼市街地を流れる川で、昔から幾度となくはん濫を起こしてきました。「各地で集中豪雨に伴うはん濫が発生しており、岩沼に住む者として、施設の役割と緊急時の対応を学習したい」との考えから、総合学習の場として選んでいただきました。



押分水門と排水機場の仕組みについて説明・見学



模型を見ながら、阿武隈川と五間堀川の水の流れを知ります



建物から出て実際の地形を確認



岩沼市のハザードマップを活用し、避難経路のアドバイス

北の町防災支援隊は、岩沼市の北の町町内会で災害時に自力での避難が困難な要支援者を支援する目的で設立され、今回のような見学学習や、普段からの声がけを行い「いざ」という時迅速な支援につなげるよう活動中だそうです。

これぞ「流域治水*」心強いっちゃ！ 今後ともよろしくお願いします！

*流域治水：川の関係者だけでなく、流域のみんなで水害に備える治水

総合学習申込み方法クリック♪

はん濫について知ろう 川から遠い場所でも大雨が降れば起こりえます

川のはん濫には2種類あります。川から水があふれる一般に「洪水」としてイメージするはん濫を外水はん濫といいます。他方、短時間の大雨などの原因で起こる浸水被害を内水はん濫と呼びます。川の水があふれる前でも、内水はん濫は起こりえます。また、雨量が排水能力を超えた場合、川から離れた場所や地下でも急激に発生するのが内水はん濫です。

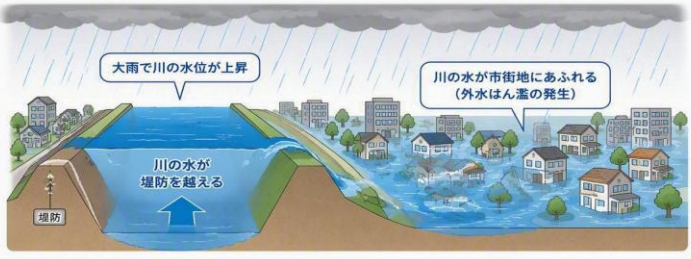
はん濫のちがい

外水はん濫（がいすいはんらん）

川の水が堤防を越えたり、堤防が壊れたりして、川の水が市街地にあふれる現象

発生の原因

大雨などにより、川の水位が上がり、堤防の高さを超えたり、堤防が壊れたりすることで発生します。



内水はん濫（ないすいはんらん）

大雨によって、下水道や排水路などの排水能力を超えた雨水が、地表にあふれる現象

発生の原因

大雨などにより、下水道や排水路に雨水が流れ込み、排水しきれなくなることで発生します。



この画像は生成ＡＩを使用して作成しています

『外から来る水』 河川の増水に起因

- 下流が晴れでも、上流で大雨が降れば時間差で下流の流水量が増し、はん濫することがあります。
- 気象庁の発する気象警報や、川の水位計測でひっ迫度が事前にわかることが多いです。
- 発生すると、川沿いの低地を中心に甚大な被害となります。

出張所が堤防点検や訓練で対策しているのは外水はん濫なんだっちゃね

『足元から湧く水』 河川の増水によらない

- 排水能力を超える集中豪雨が原因
- 予想が難しく、短時間の豪雨で一瞬にして道路冠水や地下湧水が起こります。車水没やトイレ・浴室の排水溝から逆流して浸水することもあります。

ルールを守って楽しいリバーフィッシングを♪

東北や北海道の川では、９月下旬から１１月下旬にかけて、鮭の遡上が見られます。海水温の上昇にともない、阿武隈川を遡上する鮭の数は激減していますが、かろうじてゼロではありません。なお、**鮭は、水産資源保護法によって免許や許可を持っている人しか捕獲出来ません**ので、運良く見かけてもそのまま見守っていてください。

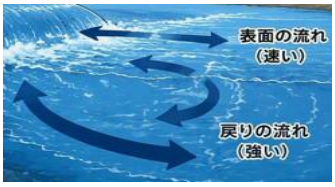
また、魚釣りについても、**阿武隈大堰から上流１００m、下流２００mは、釣り禁止区域になっていて釣りは行えません。**目印の看板が立っていますので、大堰から上流は看板より山側、または大堰から下流は看板より海側で魚釣りを楽しんでください。投網は阿武隈川流域全体で禁止です。



大堰近辺での釣りを禁止する理由

- 釣り人の安全確保と事故防止　水難事故を防ぐため
- 大堰の施設保護と運用管理　ゲートの開閉や取水などの施設運用に支障をきたさないため
- 魚類の保護　遡上する魚や堰周辺に集まる魚を保護するため

堰付近は水流が急激に変化したり渦を巻いたりして非常に危険です。



この画像は生成ＡＩを使用して作成しています

大変危険なため、堰に引っかかった落としものを拾うことなどはできません。

川　しごと　人

川でみかける働く人々。お仕事中なのはわかるけど、**な～にやってんだべ？**と思ったことありませんか？





川に入って笑顔でアユを捕るこの方。釣り人でも漁師でもありません。
その正体は**アユの研究者**。
事前に申請をして許可を得た上で、研究のためのアユを捕っています。
川で生まれ、海で冬を越し、再び川に遡って1年間で生涯を終える魚、アユ。
アユの何を調べているの？？　研究について教えてもらいました。

全国的に減少しているアユ。研究の結果はアユ資源管理に活用されるっちゃ！
美味しい天然アユがたくさん釣れるよう、研究をがんばってくださいだっちゃ！

当研究では、阿武隈川を含む九州から北海道の９河川のアユを同じ環境下で飼育し、その成長率をデータ化し、成長率の違いについて推論します。
アユは日本の中でも高緯度・中緯度（阿武隈川含む）・低緯度で遺伝的に分かれています。
各地で採捕したアユを一定期間飼育し体重を揃えた後、異なる緯度のアユを同じ池に混在させ、餌のやり方を変えて成長率のデータをとります。また、友釣りの釣られやすさと成長率の関連についても実証します。研究の結果、次のようなことがわかっています↓

【北（高緯度）のアユ】
短い夏に対応するため、短期間で急成長
縄張り意識の強さが、成長率を最大化する

【南(低緯度)のアユ】
洪水頻発のため飢餓耐性が強い
餌があればあるだけ食べ、食い貯めする

北のアユは短期間で南のアユよりも大きく育つが、餌がないと痩せやすい。南のアユは小ぶりだけど飢餓に強いんだって～

～　アユ研究者　～



水産技術研究所のお二人です♪

阿武隈川沿川市町村在住
小学3年生～6年生向けイベント案内

舟にのって学ぶ阿武隈川in丸森
10月31日（土）10:30～15:00開催
屋形船乗船と阿武隈大堰見学
申込締切 10月2日
↑イベント詳細はこちらをクリック♪
参加費無料、お住まいの市町村集合/解散



絶賛受付中！刈草無償提供

希望者は、申込書を
仙台南部流域治水出張所へ
提出してください。
詳しくはQRをクリック♪

今年も咲いたよ♪60万本のひまわりの花　～おおくま花畑～

8月末に満開を迎えたひまわりは見頃を終え、9月9日に刈り取られました。
10月にクリムソンクローバーの種を蒔き、来年の春は花畑がいちご色に染まります。

